５つの森林活動

みなさまの参加を
お待ちしております

小手澤の森

第１・３日曜日

知足の森

第１・３日曜日

相模湖・嵐山の森
小原本陣の森
草莽荘の森
不定期活動

News Letter

NPO法人緑のダム北相模
midorinodam.jp

No.535-536
知足の森の新しい作業地の境界線を調査

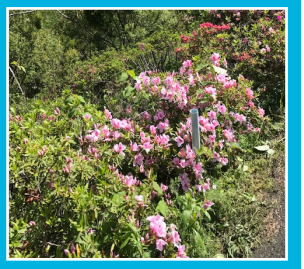
【定例活動報告】

草莽荘（そうもうそう）の森

　コロナ禍につき参加は各自の自主性に任せてあり、午前中はやや曇り気味のも関らず結構な人数が集まった日でした。
　今日は初めて若い女性が参加される予定です。私の知人からご紹介された環境問題に関心の高い方ということです。東京農大で環境問題について学ばれたあと環境問題を特に子供を中心に教育する会社で長く勤務された方です。緑のダムで学生を対象とした環境教育活動に力を貸して頂ければと思います。どうもご本人は間伐や枝打ちや経路づくりなどに興味があるようです。
　嵐山にある草莽荘で製作中の竹炭窯を手伝っていただきましたところ作業の勘も良くスピーディな動きで期待が持てます。

緑のダム北相模は相模原市内で活動する森林ボランティアです。急がず、無理せず、楽しく、休まず、 ボチボチと・・。

午後から長福寺で学生の皆さんと合流、まさに、お寺の裏手のスギ林で間伐中だったので参加してお手伝いをしていただいた。その後、小手澤の森を案内し一日の活動が終わった。午後から青空が顔を出し相模湖と嵐山の素晴らしい景観を堪能できました。



小林　照夫（本会、理事）

【定例活動報告】
知足の森

今回は2回目の参加で前回に比べ、余裕を持ち活動に参加できたと思う。前回よりもノコギリの扱いにも慣れ枝払いなどの作業も少し早くできていたのではないかと思った。前回は作業を覚えたり道具の扱いを覚えることで精一杯だったが今回は縄上げなど自分から新しいことに挑戦したり今まで一緒に作業したことのない人と木を切ったりとより発展したことを体験できた。

いつも一緒に活動しているグループの子達が今回はあまり参加しておらず、自分としては少々不安なところも多かったが、ともに作業したり、新しいことに挑戦して行く過程で、仲良くなることができた。木を切るという、一人ではなかなかできないことをすることで互いに信頼しあえるようになっていくことができた。また、今回は自分のノコギリをもらった。自分のものを持つことでよりこれからの活動に積極的に取り組めるようになったと思う。

山田　ひとみ
（GREEN TECH ENGINEER LAB　中学２年）

緊急事態宣言が解除され、本格的に活動が始まりました。午前中は測量チーム・竹林整備チームに分かれて活動を行いました。僕は竹林の整備を行いました。竹・木・雑草などが放置されていましたが、半日で綺麗にすることができました。間伐のときとはまた違った片付け方なども勉強することができました。

昼食時にはスズメバチトラップを作って仕掛けました。おさけ・砂糖・お酢を混ぜただけで作れるので簡単だと思いました。また、タケノコを皆で分けました。
午後はいつも通り間伐を行いました。マスターソード(ZORIN)を使える人も増えていて、間伐スピードも速くなっていました。結果的に2人組で6本切ることができました。今回から神様への挨拶もするようになりました。森への礼儀を忘れずにこれからも活動を続けていきたいです。

相川　雅門
（GREEN TECH ENGINEER LAB　中学２年）

桜井尚武の森のコラム

「ケヤキ(*Zelkova serrata*)とその種子」

図1　ケヤキの葉

20100620嵐山

図2　箒状形

20190403汐入公園南千住

図3　ケヤキの花

20110403戸塚区踊場

ニレ科の落葉大高木で樹高30m以上、直径2m以上にもなります。葉は互生し長さ3cm～7cm程度の狭卵形あるいは卵状披針形で葉脈は明瞭、葉辺には整った鋭い鋸歯があり先端はとがります（図1）。成木の幹は梢に向かうにつれ箒（ほうき）状に分かれるのでその樹形を箒状形（そうじょうけい）といいます（図2）。

本種は本州・四国・九州・朝鮮半島・中国の低山地帯の林に普通に混交します。開放地では成長がよく、しかも材質が重厚強靭で用途が広いので冬の季節風を防ぐための屋敷林、街路樹や公園樹に多用されます。4月頃に開花し5月には種子を稔らせ、その様子は公園や街中（まちなか）で観察できます（図3、4）。写真に見るように種子は小枝の葉腋に着きますが、この小枝は果枝といい小さな葉の付いた小振りなものが次々に並んで沢山着きます。これとは別に種子を着けない大きな葉を展開する成長枝があります（図1）。果枝は種子が成熟する9月過ぎになると葉が着いたまま落下します。この葉着きの果枝は風を受けて少しでも遠くに種子を飛ばす役割を果たすようです（図5）。落下した種子から翌年に大変小さなメバエが発生します（図6）。ケヤキは林学用語では陽樹といい、陽光が充分に当たらないと成長できません。その為沢山発生するメバエは発生したその年のうちにほとんどが枯れてしまいます。

桜井　尚武（本会、会員）

図4　種子

20110827戸塚区踊場

図5　落下した果枝

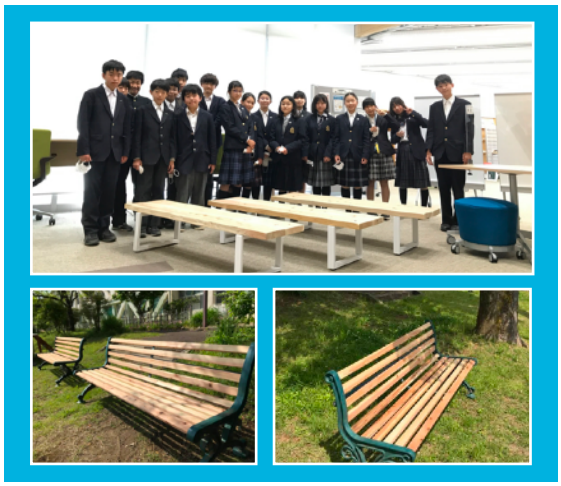
20181001新宿西口公園

図6　メバエ

20060814迦葉山沼田

【若者の森づくり】

GREEN TECH ENGINEER LAB



学芸大EXPLAYGROUND推進機構と協同しておりますGTEラボの活動ですが、本会の間伐材を使った製作物が完成しました。自分が欲しい棚を作るのではなく、製作物自体が身近な課題解決になるようなもの、というコンセプトで活動しております。今回は、大学の図書館が増築されるのに伴い、ベンチ３脚を製作、「納品」しました。脚部は既存のものを購入しましたが、そのせいもあり、市販品？と見間違えるくらいの精度で完成しました。また、附属中学校の校庭で20年近く放置されてきた卒業記念で寄贈されたベンチもリニューアル。どちらもかなりの量の間伐材を使いますが、自分たちが作ったものをいろいろな人が使っていく、と思うと達成感もなかなかのものです。

【事務局より】

この４月より、積水ハウスマッチングプログラムさま、コンサーベーションアライアンスジャパンさまのご助成をいただけることが決定いたしました。コロナウイルスとの戦いはまだまだ続きますが、ご助成の成果を最大限出せるよう活動していきたいと思います。ご助成ありがとうございます。

参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前に集合です。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴　成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食、昼食

危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランテイア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

NPO法人
緑のダム北相模

名称：特定非営利活動法人　緑のダム北相模
現地事務局：〒252-0172　相模原市緑区与瀬本町12　かどや食堂内
支援団体：セブン-イレブン記念財団
積水ハウスマッチングプログラム、国土緑化推進機構
コンサベーション・アライアンス・ジャパン
協働団体：神奈川県、相模原市、麻布大学、マルモ出版、
東京学芸大学環境教育研究センター、
（社）東京学芸大EXPLAYGROUND推進機構、
（社）さがみ湖 森・モノづくり研究所、ウッドバンク㈱

緑の募金　一般財団法人 セブン-イレブン 記念財団　SEKISUI HOUSE MATCHING PROGRAM　CAJ Conservation Alliance Japan 一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン